

# 事務事業チェックシート

事務事業No

事業名

[事業基本情報]

521

特定健康診査等事業

[長期総合計画]

分野別目標	4	誰もが安心して住み続けられる持続可能なまち
政策	9	将来に向かって希望の持てる福祉社会の形成
施策	4	社会保障制度の充実
取組方針	4	国民健康保険制度及び後期高齢者医療保険制度の適正な運営

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・ 予算区分	会計	国民健康保険事業特別会計		
	款	保健事業費		
	項	特定健康診査等事業費		
	目	特定健康診査等事業費		
	大事業	特定健康診査等事業		
	中事業	特定健康診査等事業		

事業種別	継続		関連個別計画	特定健康診査等実施計画		
事業年度	無し	～	無し	担当課・担当課長・Tel	国保年金課	山田原 尚生 435-1057
事業実施の根拠法令	高齢者の医療の確保に関する法律第20条		関連課			

## 1 事業内容

事業目的	(「誰・何」をどういう状態にするための事業か)		全体事業概要			
	被保険者の健康の保持増進、生活習慣病の発症及び重症化を予防する。		生活習慣病を予防するために、40歳から74歳の被保険者に特定健康診査を実施し、メタボリックシンドローム該当者及び予備軍のものを発見し、特定保健指導につなげる。 対象者へは「受診券」を同封した案内を送付し、健診受診勧奨を行う。			
事業内容		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度
		和歌山市医師会等医療機関に委託し健診を実施する。	和歌山市医師会等医療機関に委託し健診を実施する。	和歌山市医師会等医療機関に委託し健診を実施する。	和歌山市医師会等医療機関に委託し健診を実施する。	和歌山市医師会等医療機関に委託し健診を実施する。

## 2 事業コスト

事業費等(千円)	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		令和02年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	322,859	270,004	318,072	262,008	298,484	260,429	289,235	0	289,235	0
伸び率(%)	△0.2%	△1.2%	△1.5%	△3%	△6.2%	△0.6%	△3.1%	△100%	0%	0%
人件費	正規職員	16,930	16,373	16,431	15,713	13,267	12,708	12,708	0	12,708
	正規職員以外	510	295	450	1,149	1,787	2,421	2,280	0	2,280
	小計	17,440	16,668	16,881	16,862	15,054	15,129	14,988	0	14,988
国庫支出金	56,656	55,459	55,225	48,235	0	0	0	0	0	0
県支出金	107,694	112,619	104,953	106,264	296,566	268,450	285,531	0	285,531	0
市債	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	158,509	101,926	157,894	107,509	21	20	14,217	0	14,217	0
一般財源(税等)	0	0	0	0	1,897	△8,041	△10,513	0	△10,513	0
所要人数(人)	正規職員	2.13	2.06	2.06	1.97	1.66	1.59	1.59	0.00	1.59
	正規職員以外	0.19	0.11	0.18	0.46	0.72	1.07	0.96	0.00	0.96
主な予算内訳	特定健康診査委託料264,041千円 通信運搬費7,145千円 電算共同処理等委託料6,803千円 手数料(医師会パンチ料)5,444千円									

## 3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度
				目標値	実績値	達成度(%)	目標値	実績値
受診券送付数		通	目標値					
			実績値	71542	68544	65899		
			達成度(%)	0%	0%	0%	0%	%
受診勧奨ハガキの送付数		通	目標値					
			実績値	51218	51907	50581		
			達成度(%)	0%	0%	0%	0%	%
特定健康診査受診率		%	目標値	55	60	40	45	45
			実績値	33.8	34.6	34.6		
			達成度(%)	61.5%	57.7%	0%	0%	%
			目標値					
成果指標			実績値					
			達成度(%)					

#### 4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要があるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している (90%以上)		おおむね達成 (70~90%未満)	○ 達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度	○	重要かつ高い貢献度がある		一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない	見直しが必要

#### 5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持			○	
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	<p>特定健康診査を受けることにより、健康への意識づけができ、高血圧・脂質異常・高血糖などのリスクの減少及び疾病の早期発見・早期治療により重症化予防につながることから、中長期的に医療費の適正化に寄与する。@平成22年度以降、自己負担金の無料化、集団健診の充実、未受診者への受診勧奨はがきの送付などにより、受診率向上に努めているが、受診率は平成26年度より約33%台で横ばい傾向となっており、現状の手段を継続していくと共に、より効率的・効果的な取り組みを目指す。</p>
見直し・改善内容	<p>平成30年度より健診項目にeGFR（腎機能）を追加し実施。@eGFRは腎機能の状態をより早期に判断することができるため、重症化予防においての効果は期待できる。@</p>